



STOP! DV市民講座

～あなたの身近な人への理解と支援～

ごく一部の人たちに起こるものと思われがちな DV（ドメスティック・バイオレンス＝配偶者やパートナーからの暴力行為）。最近の国の調査では、じつに女性の4人に1人は被害経験があることが明らかになりました。身近な人が「被害にあっているのでは」と感じたとき、わたしたちにできることは――。DV被害の実態と早期発見、当事者の回復に向けて、一人ひとりができることについて3回の講座で考えます。

参加費 無料

定員 70名(各回先着順)

仙台市男女共同参画推進センター
エル・ソーラ仙台 大研修室
AERビル(仙台市青葉区中央1丁目3-1)28階

第1回 DVとは

7/18 (土)
10:00～12:00

ドメスティック・
バイオレンス(DV)の
理解と支援

被害の実態、特に精神的暴力・
性暴力による被害と回復に向けた支援



NPO法人レジリエンス 代表

中島 幸子 氏

第2回 子どもとDV

9/12 (土)
10:00～12:00

～耳を傾けよう～
子どもにもたらす
影響とケア

家庭でのDVが子どもにもたらす
影響と、その対応について



「こころとからだ・
光の花クリニック」院長

白川 美也子 氏

第3回 DVからの回復

12/5 (土)
13:30～15:30

～DVを乗り越えて～
シングルマザーが安心
できる暮らし・地域へ

被害から逃れた母子の自立の実情と、
私たち市民ができること



NPO法人しんぐるまざあず・
ふぉーらむ 理事長

赤石 千衣子 氏

【申込・問合せ】 仙台市男女共同参画推進センター エル・ソーラ仙台 相談支援課
TEL 022-268-8302/FAX 022-268-3911 <http://www.sendai-l.jp/>
【主催】 仙台市 【企画】 公益財団法人せんだい男女共同参画財団

連続講座ではありません。1回のみ参加も可能です。申込方法・詳細は裏面をご覧ください。

● 申込方法 ●

表面の電話またはファクス、ホームページ〔申し込み時の必要事項：お名前・連絡先（平日の日中に連絡可能な電話番号）・ご所属・託児希望の方は子どもの年齢を月齢まで記入）で、お申し込みください。

【受付開始】 第1回6/6（土）、第2回8/6（木）、第3回11/6（金）午前9時から
* 定員になり次第締切。連続講座ではありません。各回申し込みが必要です。

【託児】 あり（要申し込み・先着順）

- * 6ヶ月以上小学1年生まで（託児利用料 お子さん一人につき300円）
- * しょうがいのあるお子さんや上のお子さんについてもご相談ください。
- * 託児申し込み締切=第1回7/9（木）、第2回9/3（木）、
第3回11/26（木）

※申し込みの際にいただいた個人情報は、本講演に関するこのみに使用します

● 講師プロフィール ●

なかじま さちこ
中島 幸子 氏

NPO法人レジリエンス代表、米国法学博士、大学非常勤講師。DV被害にあった経験がきっかけとなり勉強を始め、2003年に女性のための「こころのcare講座」をスタートさせ、「レジリエンス」を結成。同年、米国ソーシャルワーク修士号取得。全国各地で毎年多数の講演を行う。主な著書に『性暴力：その後を生きる』（レジリエンス）、『マイ・レジリエンス：トラウマとともに生きる』（梨の木舎）や、共著に『傷ついたあなたへ<1>、<2>』（梨の木舎）、共訳に『DV・虐待被害者の実体を知る』（L・バンクロフト著/明石書店）などがある。

★NPO法人レジリエンス

DVやトラウマから回復するためのサポート活動を2003年から開始。各地での講演や研修、連続講座、サポートグループ、カウンセリングや他国での先進事例スタディーツアーなど、様々な方法でDVやトラウマケアの啓発活動を行っている。

しらかわ みやこ
白川 美也子 氏

浜松医科大学卒業。独立行政法人天竜病院精神科医長、浜松市精神保健福祉センター所長、国立精神・神経センター臨床研究基盤研究員などを経て、2013年に「こころとからだ・光の花クリニック」を開業。東日本大震災時のトラウマケアにも尽力。日本精神神経学会専門医・指導医、東京女子医科大学女性生涯健康センター非常勤講師、NPO法人女性の健康と安全のための支援教育センター理事、日本トラウマティックストレス学会理事、EMDR学会理事、日本子どもの虐待防止学会評議員などを歴任。共著に『PTSD一人は傷つくとうなるかー』（日本評論社）、『心的トラウマの理解とケア』（じほう社）、『子どもの精神医学』（金芳堂）、共訳に『トラウマを乗り越えるためのセルフヘルプガイド』（河出書房）、『DV・虐待にさらされた子どもの心を癒すー母親と支援者のためのガイド』（明石書店）、『支援と復興の災害心理学』（福村出版）、『子どものトラウマと悲嘆の治療』（金剛出版）などがある。

あかいし ちえこ
赤石 千衣子 氏

NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ理事長。社会保障審議会児童部会ひとり親家庭の支援の在り方に関する専門委員会参加者。シングルマザーと子どもたちが生き生き暮らせる社会を目指し活動中。著書に『ひとり親家庭』（岩波新書）、編著に『シングルマザーのあなたにー暮らしを乗り切る53の方法』（現代書館）などがある。

★NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ

母子家庭の当事者を中心に、シングルマザーが子どもと一緒に生き生き楽しく生きられるように、情報を提供したり、交流の場をつくったり、調査・提言などを行って、行政に働きかけたりするNPO。2003年に法人化。

仙台市及び仙台市男女共同参画推進センター エル・ソーラ仙台では、下記の相談業務を行っています。
仙台市内にお住まいか、勤務・通学している方が対象です。ご相談は無料。秘密厳守。お気軽にご相談ください。
お近くに悩んでいる方がいらしたら、こんな窓口があることをお知らせください。

ストップ!DV
~ひとりでもがまんしないで!~



仙台市「女性への暴力相談電話」

TEL. 022-268-5145

月曜・水～金曜 9:00～17:00 火曜 9:00～19:00(祝日・年末年始を除く)

エル・ソーラ仙台
女性のための電話相談
Tel.022-224-8702

月・水～土 9:00～15:30
(祝日・休館日除く)

不安や悩みをひとりで抱えて苦しくなっていませんか?
女性のさまざまな相談に女性相談員が応じます。
どんなことでもお電話ください。

仙台市母子家庭相談支援センター
Tel.022-212-4322

開設時間(祝日・休館日を除く)
火曜 11:00～19:00
水～土曜 9:00～17:00



シングルマザーの就業と自立をサポートするセンターです。
AER29階(エル・ソーラ仙台内)

※相談カードは切り取って、「携帯用」としてお使いください。